

[優 秀 賞] 野球向けボールトラッキングシステム「Baseboy」



代表取締役社長
林 建一 氏

株式会社Qoncept

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-3 PMO平河町2F

TEL. 03 (6380) 8006

<http://qoncept.co.jp/baseboy/>

野球中継や練習などに使うボールのトラッキングシステム。2台の汎用的なカメラやスマートフォンのカメラで撮影することにより、投球や打球の3次元軌道をリアルタイムで計測する。取得できるデータは、投球データについては、3次元軌道、初速、ストライクゾーン通過点、リリースポイント、変化量など。打球データは、3次元軌道、初速、打球速度、推定飛距離を算定する。

1台でもボールの初速や速度変化が取得できる。また2台のカメラの同期は不要で、設置もしやすい。

従来、レーダー方式のトラッキングシステムが利用されているものの、導入コストが高く、球場に常設する必要があった。また、球場の立地状況などによっては誤差も出やすいなど、課題があった。カメラによる画像解析方式を使うことで、設置が容易になり、コストも従来のレーダー方式と比べて約10分の1と大幅に削減できる。

基本的には、1試合利用の使用料を課金していく。ハードウェアは無料で貸し出す。プロ野球の場合が1試合当たり8万円、テレビ中継に使う場合は1試合当たり15万円、アマチュアで使う場合は年間当たり50万円から100万円を予定している。

国内では、アマチュア・少年野球・プロ野球などのチーム向けの市場、全国の球場、放送局向けの市場の三つを対象と想定している。当面8億円の売り上げを見込んでいる。海外では、米国、メキシコ、韓国、中国、台湾など野球が盛んな地域を対象としている。特に米国はマイナーリーグや大学リーグ、地方球場など大きな市場を見込んでいる。

